

2019年4月1日～2020年3月31日

トップメッセージ



株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々及びご家族・関係者の皆様にご挨拶申し上げます。当社も医薬品開発を通して新型コロナウイルス問題の克服のために努力すると共に、感染防止にも鋭意協力しております。

当社は、世界の人々の健康に貢献する医薬品の上市を目指し、研究開発に取り組んで参りました。特に、スマート創薬（早く安く確実に安全な医薬品を患者さんに届ける）を実践するため、ドラッグデリバリーシステム（DDS）とドラッグ・リポジショニング（DR）をコア技術としています。

昨年6月に発足した当社の現経営陣は、

I. 株主様の声に真摯に耳を傾け、経営に反映させる。

II. ①既存パイプラインの2024年度までの上市、②湘南研究所による新規パイプラインの創成と2029年度までの上市、③北京泰徳製薬股份有限公司（以下、北京泰徳製薬と称します）をはじめとするSINO BIOPHARMACEUTICALグループ（CPグループ）とのより強固な連携、④お互いの強みを活かした他社との協業、以上4点により、営業利益の黒字化（北京泰徳製薬の配当金なしでも黒字）を目指す。

III. 既存株主救済のため、再上場などによる株式流動化を目指す。

IV. 5年後、10年後の会社像、収益計画、事業計画を明らかにする。

以上4点を大きな目標とし活動しました。その結果、これまで行っていなかった個人株主様へのアンケートによるご意見集約、事業計画の策定、資本政策の検討を行いました。

研究開発活動では、PC-SOD（LT-1001）に関して、ライセンス先の北京泰徳製薬が心筋梗塞を対象とする第Ⅱ相臨床試験を開始しました。当社においては、全く新しい適応疾患（非開示）に関して精力的に研究を進めたところ、臨床試験開始までの道筋が見えてきました。一方、この新しい適応疾患に興味を持った製薬企業と共同研究に関して協議を進め、共同研究契約の締結に至りました。「ドライアイ治療薬（LT-4002）」に関しては、後期第Ⅱ相臨床試験を開始し臨床試験を完了しました。現在、結果の解析を行っておりますが、終了次第なるべく早く結果をお知らせする予定です。

昨年新設した湘南研究所は、研究室の立ち上げを完了し、本格的な研究活動を開始しました。また、北京泰徳製薬のさらなる発展が当社の事業基盤・経営基盤をより強固にすると考え、事業を推進しております。さらに、北京泰徳製薬の親会社であるSINO BIOPHARMACEUTICAL（CPグループ）との連携を深めることが当社の企業価値の向上に繋がると考え、当社と先方のCEOが定期的な交流することも開始しました。

当社は過去の投資の果実である受取配当金を研究開発費に充当するビジネスモデルで事業を行っております。本事業年度においては、中国における新型コロナウイルスの影響により北京泰徳製薬の配当決議が延期され、北京泰徳製薬の受取配当金の計上がなかったことから、経常損失は728,982千円、純損失807,206千円となりました。

さて、2020年6月の株主総会において、多くの株主様の支持を頂き、配当の実施と現経営陣の再任が承認されました。配当に関しては、新型コロナウイルス問題で多くの株主の方が生活へのご不安を抱えているのではないかとということ、及び株主アンケートの結果等を勘案したものです。尚、現経営陣の入れ替えを図る株主提案は否決されました。

現経営陣は引き続き、医薬品上市、会社価値の向上、及び株主利益を目指し鋭意努力して参りますので、今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長・CEO 水島 徹

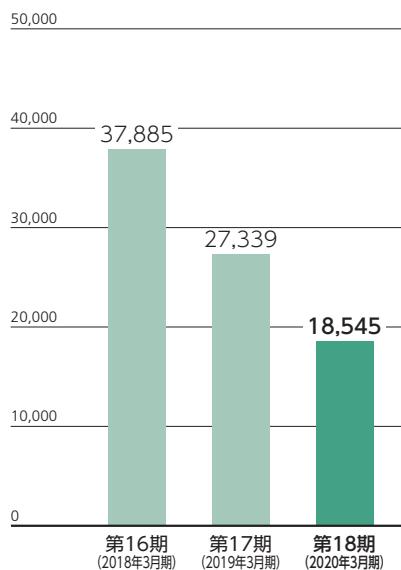
業績の概要

当社の当事業年度の売上高は北京泰徳製薬との包括的支援契約に基づく報酬等により18,545千円（前期比32.1%減）となりました。販売費及び一般管理費の研究開発費は、LT-4002の第Ⅱ相臨床試験等により593,352千円（前期比29.7%増）、販売費及び一般管理費のその他は支払報酬の減少等により115,566千円（前期比19.8%減）となったため、営業損失は693,604千円（前期比20.8%損失増）となりました。また、中国における新型コロナウイルスの影響により北京泰徳製薬の配当決議が延期され、北京泰徳製薬の受取配当金の計上がなかったことから、経常損失は728,982千円（前期は経常利益394,507千円）、当期純損失807,206千円（前期は当期純利益327,130千円）となりました。

決算ハイライト

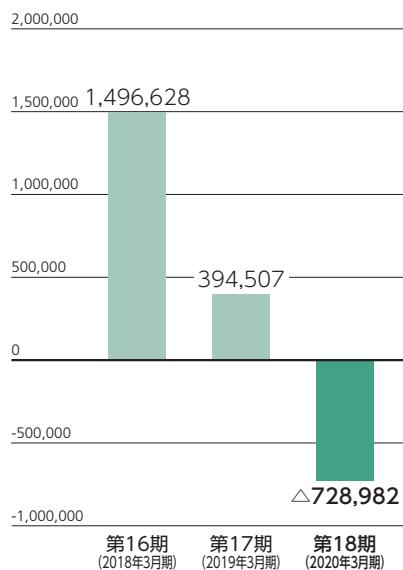
■売上高

単位：千円



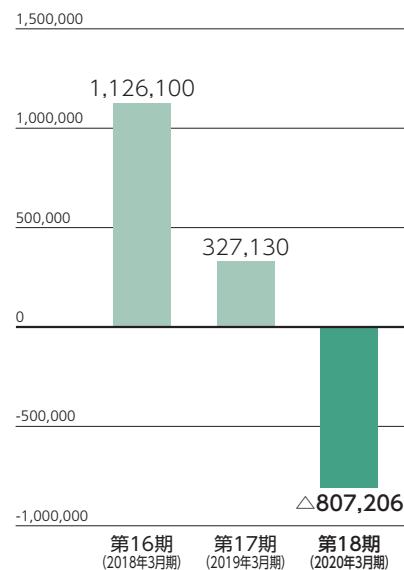
■経常利益

単位：千円



■当期純利益

単位：千円



研究開発の強化及びライセンス体制

● ドライアイ治療薬 (LT-4002)

前期第Ⅱ相臨床試験では良好な結果が得られています。当事業年度では、後期第Ⅱ相臨床試験を開始し年度内に臨床試験を完了することが出来ました。また国内製薬企業と具体的なライセンス交渉を進めた結果、タームシート（契約の概略）を提案する段階まで至りました。この契約が整い、第Ⅲ相臨床試験が成功すれば、新薬の上市が見えてくるため、交渉に尽力しております。

● PC-SOD (LT-1001)

ライセンス先の北京泰徳製薬による心筋梗塞を対象とする開発では、第Ⅰ相臨床試験を完了し良好な結果が得られており、当事業年度では第Ⅱ相臨床試験を開始しました。

当社としては、前事業年度に発見した全く新しい適応疾患（非開示）に関して興味を持った製薬企業と共同研究に関して協議を進め、共同研究契約の締結に至りました。一方、腎疾患を対象とした開発に関しましても、大学との共同研究として進めております。

● DR研究

当社が独自に開発した既承認薬ライブラリーを他企業やアカデミアに提供し共同でDR研究を行う事業を強化するため、有望な共同研究のアイデアに対して、既承認薬ライブラリーだけでなく研究費を当社が負担するという新たな取り組みを開始しました。

当事業年度では複数の応募を受け、その内一件と契約を締結し研究を開始しました。

また、新型コロナウイルス問題の解決に貢献するため、このウイルス関連の研究を行っている研究機関に既承認薬ライブラリーを提供するプロジェクトを開始しました。

パイプライン	対象疾患	基礎研究	非臨床試験	臨床開発			提携先
				PhaseI	PhaseIIa	PhaseIIb	
①LT-1001/PC-SOD【注射剤】	潰瘍性大腸炎						2007年8月 北京泰徳製薬
	特発性肺線維症						
	心筋梗塞、脳梗塞						2007年8月 北京泰徳製薬
	ARDS						
	非開示						2020年3月 国内製薬企業（非開示）
②LT-1002/PC-SOD NE【吸入製剤】	特発性肺線維症						2011年8月 CKD
	COPD						
③LT-2001/AS-013	慢性動脈硬化症						2009年9月 北京泰徳製薬
④LT-2003/ステルス型ナノ粒子PGE1製剤	慢性動脈硬化等						2010年11月 北京泰徳製薬
⑤LT-2004/ステルス型ナノ粒子PGI2製剤	肺動脈性肺高血圧症						
⑥LT3001/NSAID	炎症疾患						
⑦LT-3002	COPD						
⑧LT-4001/ドラッグリポジショニング	COPD						
⑨LT-4002/ドラッグリポジショニング (DR)	ドライアイ						
⑩LT-4004/ドラッグリポジショニング (DR)	非開示						2015年10月 EAファーマ
⑪LT-4009/ドラッグリポジショニング (DR)	癌						2018年3月 静岡県大
⑫LT-4010/ドラッグリポジショニング (DR)	肺線維症						2018年6月 武蔵野大
⑬LT-5001/ドラッグリポジショニング (DR)	神経領域（非開示）						2018年3月 ノーベルファーマ

業績及び財務状況等

(単位：千円)

科 目	第17期 (2019年3月期)	第18期 (2020年3月期)	前期比増減 (%)
売 上 高	27,339	18,545	△ 32.1
売 上 原 価	—	3,231	—
売 上 総 利 益	27,339	15,314	△ 43.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	601,461	708,918	17.8
研 究 開 発 費	457,256	593,352	29.7
そ の 他	144,205	115,566	19.8
営 業 損 失 (△)	△ 574,121	△ 693,604	—
営 業 外 損 益	968,629	△ 35,378	—
経 常 利 益	394,507	△ 728,982	—
特 別 損 失	2,214	216	△ 90.2
法人税、住民税及び事業税	142,152	1,018	△ 99.2
法 人 税 等 調 整 額	△ 76,989	76,989	—
当 期 純 利 益	327,130	△ 807,206	—

Point 1

●売上高

北京泰徳製薬との包括的
支援契約に基づく報酬等

Point 2

●研究開発費

ドライアイ治療薬 (LT-
4002) の後期第Ⅱ相臨床
試験費用等

Point 3

●営業外損益

北京泰徳製薬からの受取
配当金が延期された

(単位：千円)

科 目	第17期 (2019年3月末)	第18期 (2020年3月末)
流 動 資 産	3,776,479	2,777,368
現金及び預金	2,737,267	2,492,457
未収入金	949,507	—
固 定 資 産	1,539,949	1,561,547
投資その他の資産	1,539,949	1,561,547
資 産 合 計	5,316,429	4,338,916
流 動 負 債	226,056	49,745
未払金	121,206	46,428
未払法人税等	99,714	543
固 定 負 債	10,405	18,873
負 債 合 計	236,461	68,618
株 主 資 本	5,075,516	4,268,310
評価・換算差額等	4,451	1,987
純 資 産 合 計	5,079,968	4,270,297
負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,316,429	4,338,916

Point 4

●未収入金

北京泰徳製薬からの受取
配当金延期による減少

Point 5

●固定資産

満期保有目的の投資有価
証券

Point 6

●純資産合計

当期純損失の計上による
減少

第19期（2021年3月期）業績見通し

売上高は北京泰徳製薬との包括的支援契約の継続による収入等により43百万円前後を見込んでおります。

販売費及び一般管理費は、ドライアイ治療薬（LT-4002）の次の治験などにより805百万円となるため、営業損失は762百万円強となる見込みです。

営業外収益の北京泰徳製薬からの配当金につきましては、前期の配当金がずれたことによる収益の増加と、営業外損益を差し引きした当期純利益は500百万円程度となる見込みです。

なお、当社の業績は研究開発の進捗や北京泰徳製薬の配当政策などの不確定要素を多く含んでおりますので、大きく変動する場合があります。

会社情報

【大株主の状況】

株主名	持株数	持株比率
北京泰德制药股份有限公司	25,320株	19.20%
一般財団法人水島記念財団	23,375	17.72
SINO BIOPHARMACEUTICAL LIMITED.	6,500	4.92
細羽 強	4,534	3.43
秋元 利規	4,200	3.18
吉野 友裕	3,515	2.66
遠藤 賢一	2,651	2.01
佐藤 智之	2,354	1.78
鶴見 達也	1,670	1.26
佐野 幸司	1,590	1.20

【会社概要】

名称	株式会社LTTバイオファーマ		
所在地	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号汐留ビルディング3階 TEL：03-5733-7391 FAX：03-5733-7397		
設立	2003(平成15)年1月 前身は1988(昭和63)年4月設立の(株)エルティーター研究所		
資本金	1億円		
役員	代表取締役	水島 徹	
(2020年6月26日現在)	取締役	大谷 培夫	
	取締役	菊池 寛	
	取締役	武永 美津子	
	取締役	謝 炳	
	取締役	鄭 翔玲	
	取締役	趙 焯平	

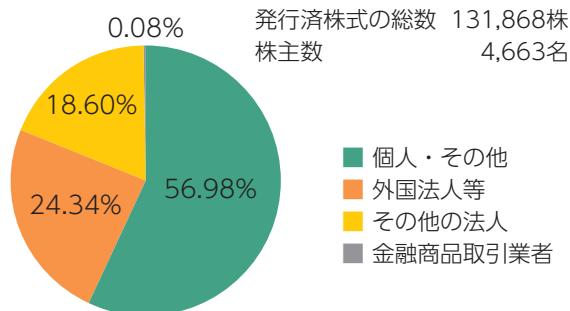
パートナーシップ

資本・業務提携	北京泰德制药股份有限公司
研究委託先	日本大学 就実大学 武蔵野大学 東京大学 静岡県立大学 大阪大学



北京泰德製薬本社(中国北京市)

【所有者別分布】



【株主メモ】

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〈お問合せ〉 0120-232-711 〈お手続き〉 三菱UFJ信託銀行 本店・各支店
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ltt.co.jp ※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。